

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～24℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり139kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり556kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり115kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり377kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/15～11/19の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島北沖に移動するも漁獲薄、久慈～宮古沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延7隻、総計223箱、1航海最高61箱、平均31.9箱。

ケンサキイカ（2～3立）を漁獲。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-25号 6県ケンサキイカ情報（令和7年度 第6号）」・「第7-26号 壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>